

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議(第 67 回)

日時：令和 7 年 8 月 6 日（水） 14:00～16:00

場所：名古屋能楽堂 会議室

会 議 次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
  - (1) 植栽管理計画の実施について <資料 1>
- 4 その他
- 5 閉会

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議（第 67 回） 出席者名簿

■ 構成員

(敬称略)

氏 名	所 属	備考
瀬口 哲夫	名古屋市立大学名誉教授	座長
丸山 宏	名城大学名誉教授	副座長
小濱 芳朗	名古屋市立大学名誉教授	
麓 和善	名古屋工業大学名誉教授	
三浦 正幸	広島大学名誉教授	
藤井 譲治	京都大学名誉教授	

■ オブザーバー

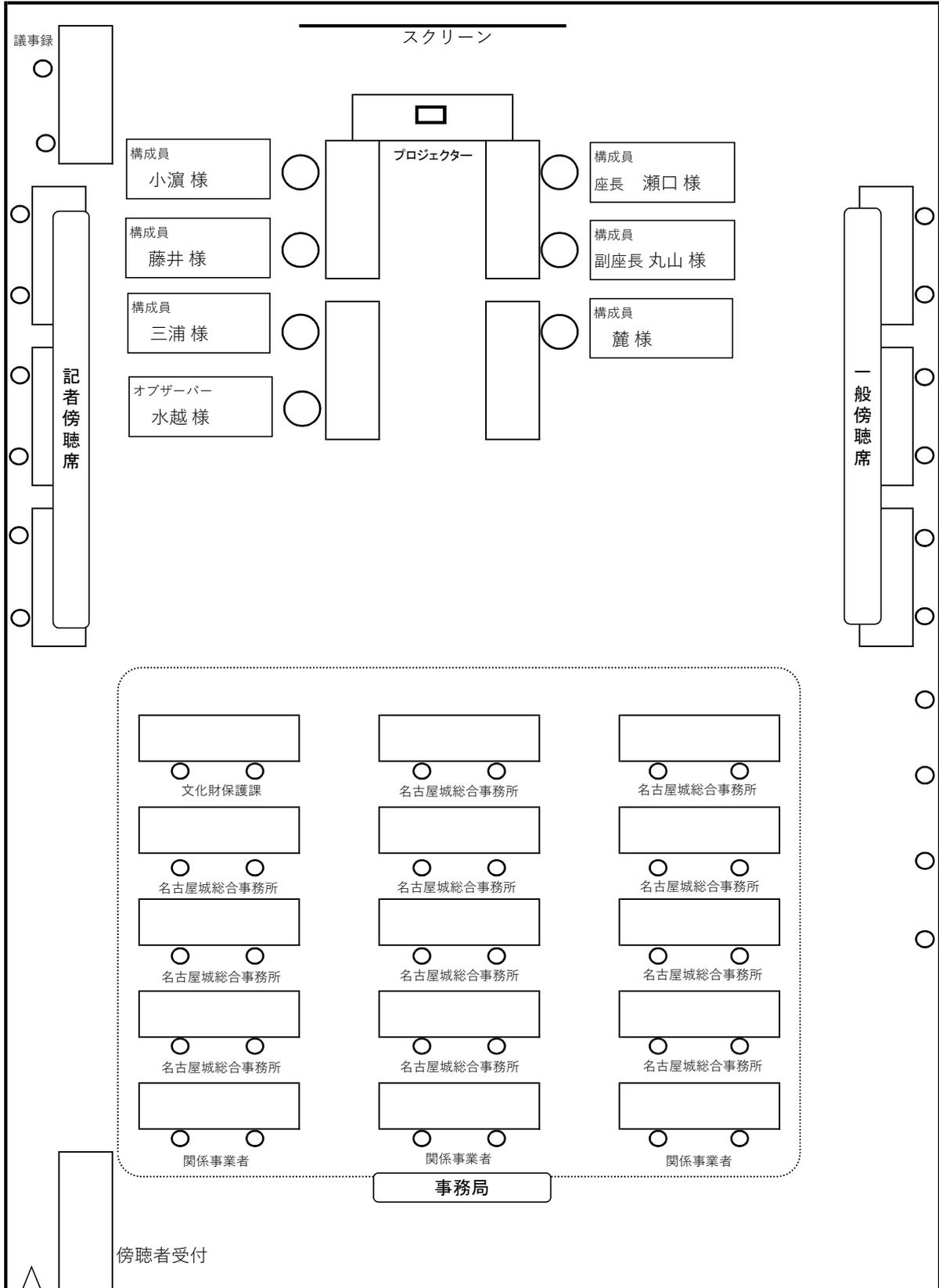
(敬称略)

氏 名	所 属
渋谷 啓一 (リモート)	文化庁文化財第二課 主任文化財調査官
平澤 毅 (リモート)	文化庁文化財第二課 主任文化財調査官
水越 佑樹	愛知県県民文化局文化部文化芸術課文化財室 主査

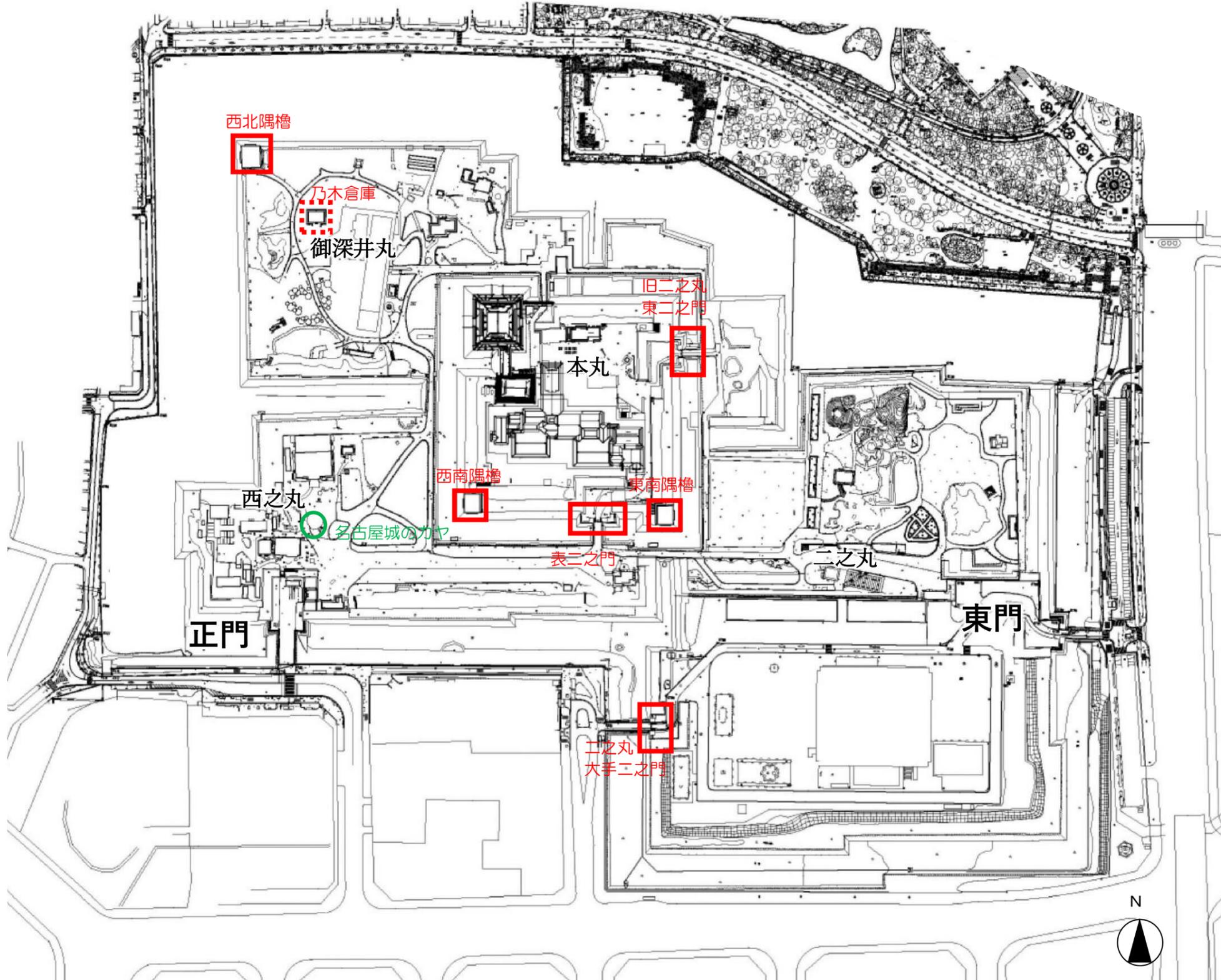
# 第67回特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議

## 座席表

名古屋能楽堂 会議室



# 第 67 回全体整備検討会議 議題位置図



議事

① 植栽管理計画の実施について  
(城内全域)

重要文化財 登録有形文化財 天然記念物

令和7年度（2025年度） 事業予定について（イメージ）

R7.8.6時点

事項	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
【天守閣整備事業】（H29（2017）年度～） ○天守台及び周辺石垣の保存対策		石垣保存対策 （修復及び補修を実施する具体的な範囲や手法について）											
【水堀の活用（舟運）】（R4（2022）年度～） ○船着場設置工事													
【本丸搦手馬出周辺石垣の修復】（H14（2002）年度～） ○積み直し工事		積み直し工事											
【植栽管理計画の実施】（R7（2025）年度～） ○植栽管理計画の実施													
【園路改修計画の策定】（R5（2023）年度～） ○園路改修工事													
【園内サイン改修】（R5（2023）年度～） ○園内サインの作成・改修工事													
【二之丸庭園の保存整備】（H25（2013）年度～） ○修復整備工事													
【表二の門等の保存修理】（R元（2019）年度～） ○表二の門雁木復元検討等													
【本丸御殿長期保全計画の策定】（R6（2024）年度～） ○長期保全計画策定													
【特別史跡名古屋城跡の石垣保存方針策定】（R4（2022）年度～） ○石垣保存方針策定													
【重要文化財建造物等保存活用計画の策定】（R6年（2024）度～） ○保存活用計画策定													
(参考)本丸外の無料化実証実験（R7（2025）年度）													

※ ◎：計画の策定や現状変更許可の取得に係る内容を全体整備検討会議に付議する想定時期

※10月～3月のうち、最大1か月で実施予定

## 植栽管理計画の実施について

### 1 計画の概要

#### (1) 計画の位置付け

「特別史跡名古屋城跡保存活用計画」（平成30年5月策定）では、城内の植栽の将来的かつ具体的な維持管理計画として「名古屋城植栽管理計画」の策定を行うと定めており、令和7年3月に策定した。

表1 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議

開催日	会議回数	内容
令和4年 3月 4日	第47回	名古屋城植栽管理計画の目的と調整対象案
令和5年10月23日	第57回	植栽現況調査結果の概要報告
令和6年 6月10日	第60回	植栽管理計画の説明
令和6年10月11日	第62回	計画（案）の修正

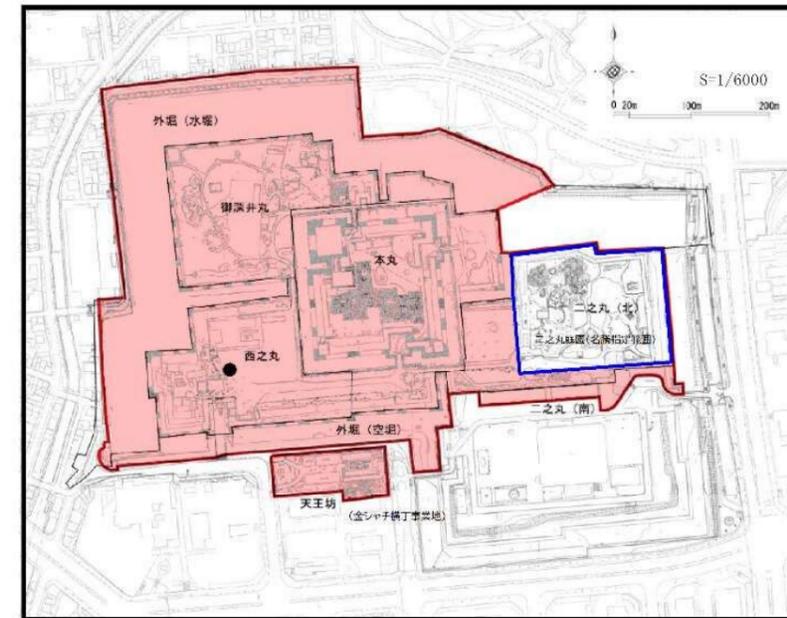
#### (2) 計画の目的

本計画は、文化財である特別史跡名古屋城跡として価値を高めるために、計画的な植栽管理を行い、魅力ある歴史的景観（造園空間）を造っていくことを目的とする。

#### (3) 植栽管理の主な課題

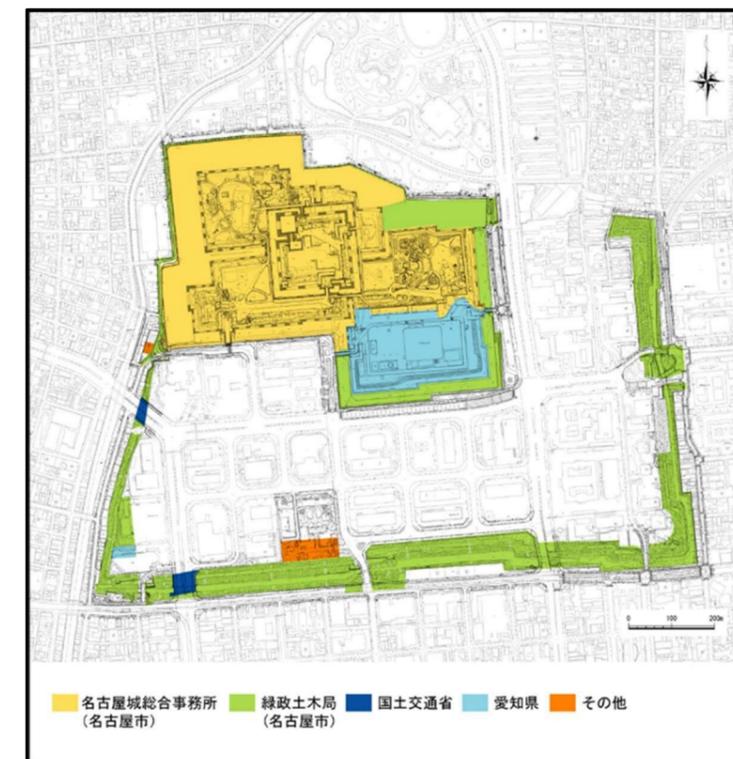
- ・落枝や倒木などにより来場者の安全性が懸念される。
- ・文化財に影響を及ぼす可能性の高い樹木がある。
- ・天守への眺望の妨げになるなど城郭としての歴史的景観が阻害される。

#### (4) 計画範囲



- 【凡例】
- 植栽管理計画の対象範囲
  - 植栽管理計画の対象外範囲
  - 国指定天然記念物「名古屋城のカヤ」

図1 計画範囲



- 名古屋城総合事務所 (名古屋市)
- 緑政土木局 (名古屋市)
- 国土交通省
- 愛知県
- その他

図2 特別史跡指定地の管理区分

(5) 植栽管理の進め方

植栽管理計画の進め方を図3に、日常管理と特別管理の内容を表2に示す。

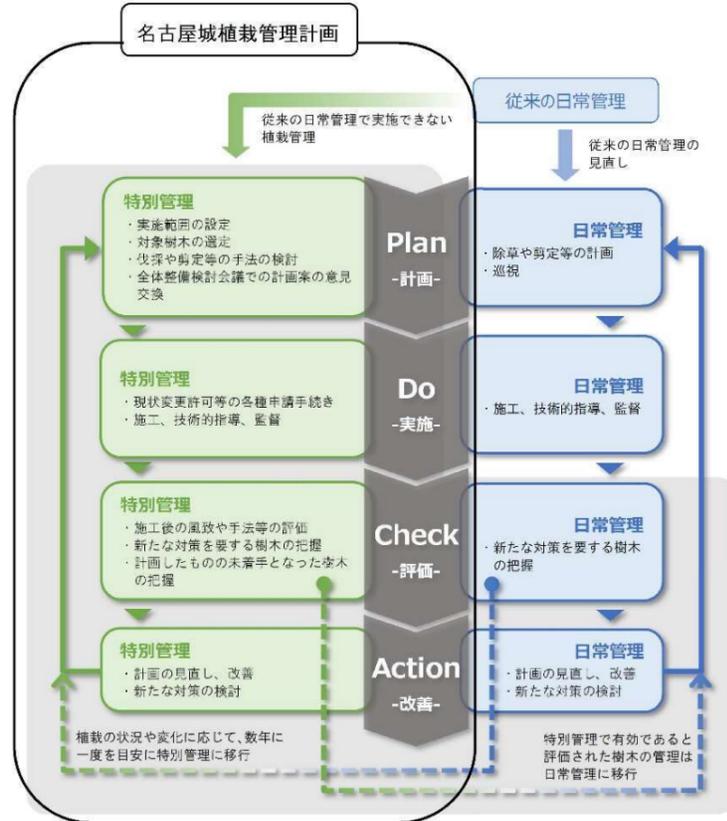


図3 日常管理と特別管理の関係と進め方

表2 日常管理と特別管理

管理	現状変更手続き	植栽管理の内容
日常管理	不要	・巡視、除草、清掃、低木刈込・剪定、中木刈込・剪定 ・高木の枝剪定（通常の維持管理の範疇に含まれるもの）
	要	・来場者の安全性等の観点から、緊急性を要する樹木の伐採 ・枯死木の伐採
特別管理	不要	・大型化した低木の刈込、剪定
	要	・文化財へ影響を及ぼす可能性のある樹木（伐採、剪定） ・安全性が懸念される樹木（伐採、剪定） ・外来種（伐採） ・実生で増加していると考えられる樹木（伐採、剪定） ・市民に親しまれている樹木（伐採、剪定、補植） ・歴史的建造物等への見通しを阻害する樹木等（伐採、剪定）

(6) 植栽管理の体制

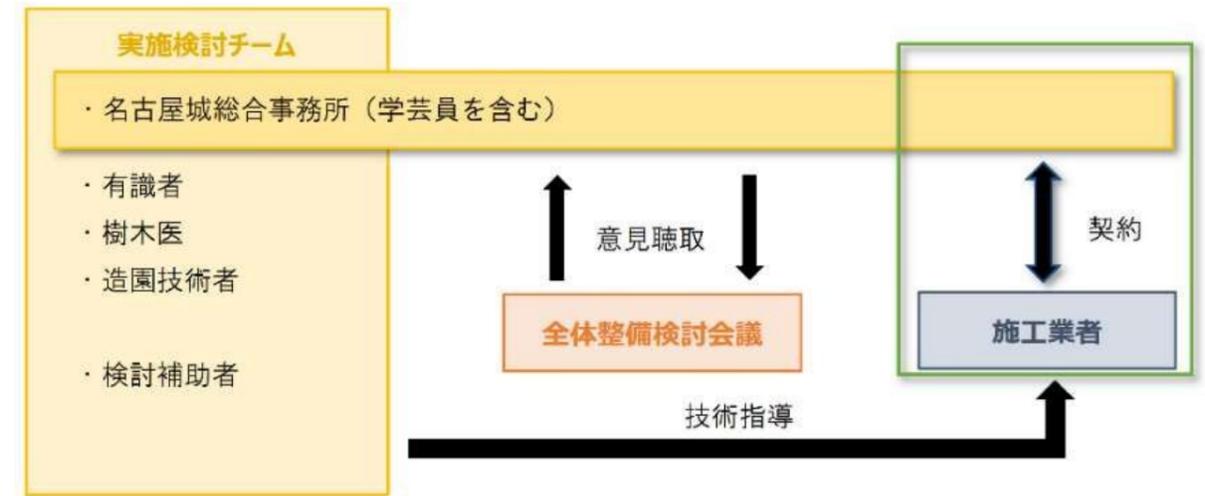


図4 植栽管理計画の実施体制

(7) 特別管理の実施スケジュール



※実施範囲A～Eの想定  
 実施範囲A：御深井丸西部地区  
 実施範囲B：御深井丸茶席群地区  
 実施範囲C：本丸地区  
 実施範囲D：西之丸地区  
 実施範囲E：実施範囲A～D以外の計画対象範囲

図5 特別管理の実施スケジュールイメージ

2 植栽管理の実施検討

(1) 実施検討チーム

表 3 構成員

氏名	所属	備考
丸山 宏	名城大学名誉教授	チーム長
河内 文彦	一般社団法人日本樹木医会愛知県支部	
津坂 洋輔	一般社団法人日本樹木医会愛知県支部	
近藤 弘和	一般社団法人愛知県造園建設業協会	
稲垣 大	一般社団法人名古屋市造園建設業協会	
学芸員 (考古学)	名古屋城調査研究センター	
職員	名古屋城総合事務所	事務局

(2) 実施検討チーム会議の開催状況等

表 4 開催状況と内容

開催回数	年月日	内容
第 1 回	令和 7 年 3 月 4 日	・実施検討チーム長の互選 ・現場視察「御深井丸西部地区」
第 2 回	令和 7 年 4 月 25 日	・御深井丸西部地区の植栽管理計画の事務局案提示 ・御深井丸西部地区の現地調査
第 3 回	令和 7 年 6 月 16 日	・御深井丸西部地区の植栽管理計画の実施計画案作成 ・現場視察「御深井丸茶席群地区」

(3) 植栽管理計画 (特別管理) の実施範囲

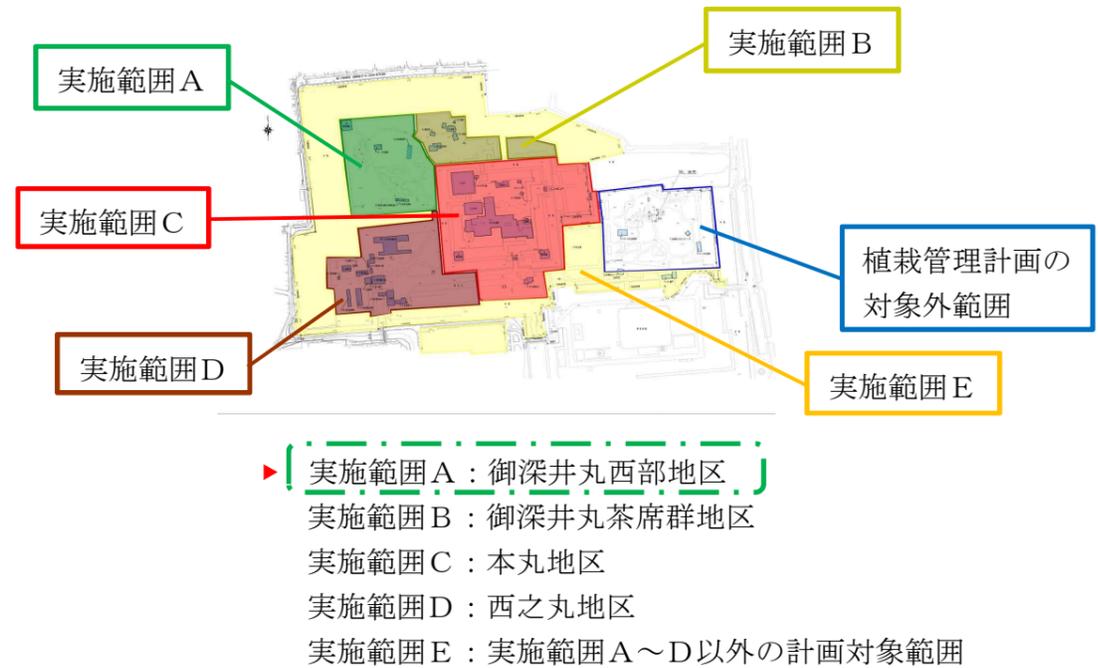


図 6 実施範囲

(4) 御深井丸西部地区の特別管理の実施計画案

実施方法と施行数量を表 5 に、高木の伐採理由及び本数を表 6 に、実施方法の伐採を行う樹木の位置を図 7 に、剪定を行う樹木の位置を図 8 に示す。

表 5 実施方法と施行数量

種別	伐採	剪定	切戻剪定 (低木)	計
	本	本	か所	本 (か所)
高木	103	77	—	180
中木	71	7	—	78
生垣	4	—	—	4
低木 (玉物)	9	—	113	122
低木 (寄植)	—	—	12	12
合計	187	84	125	396

表 6 高木の伐採理由及び施行数量 (※重複あり)

理由	文化財への影響	来場者の安全性確保	外来種	周辺樹木への被圧	見通しを阻害	計
	本	本	本	本	本	本
施行数量	28	32	2	46	2	110

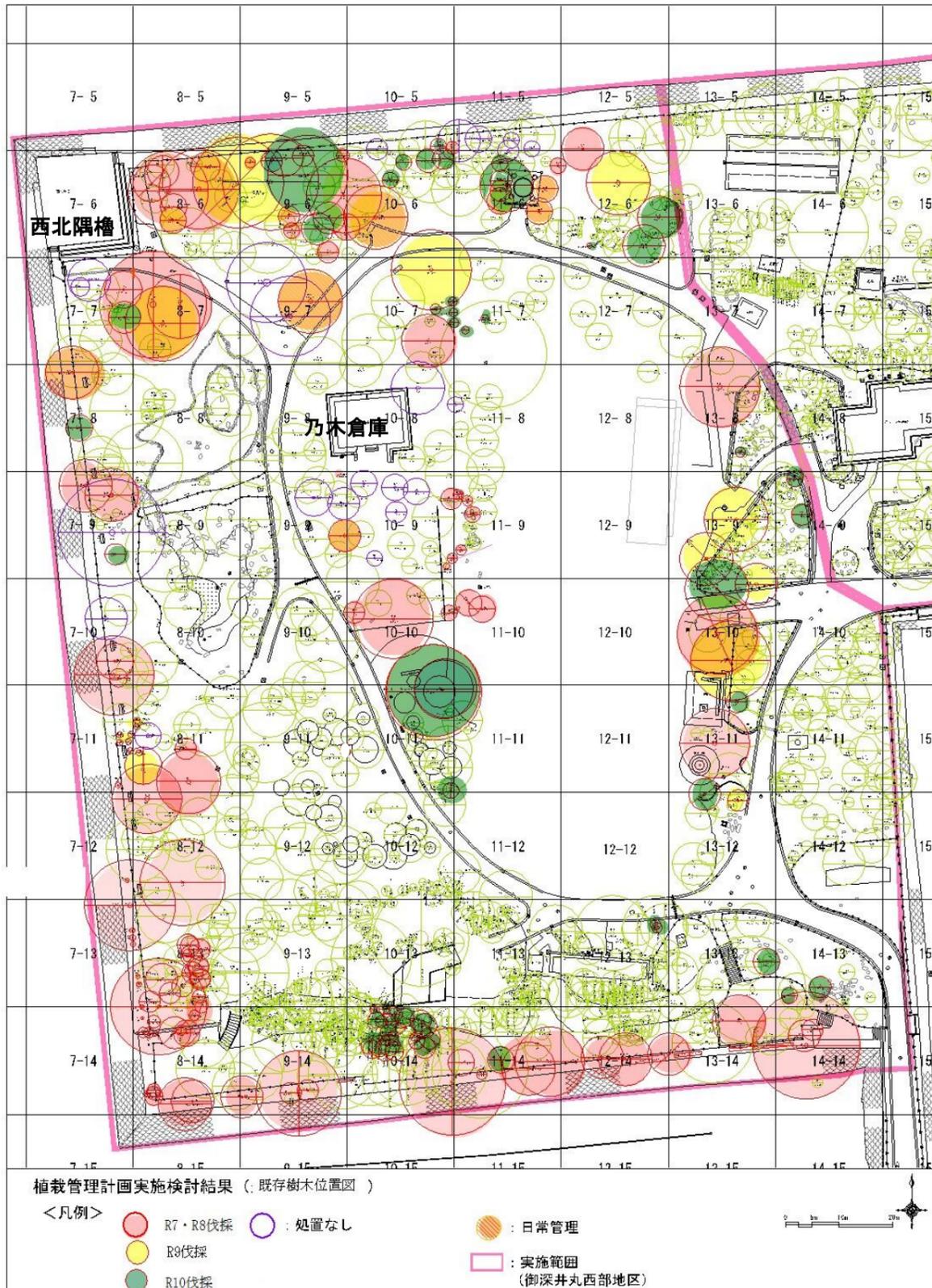


図7 伐採位置図



図8 剪定位置図